

中国ロストワックスメーカー 2社のご紹介



南関東営業所

熊谷康之

機械要素展でも展示しました、中国ロストワックスメーカー2社をご紹介します。

1) 寧波鴻成 機械有限公司 第1工場

ニンボウホンチャン

場所は浙江省寧波市鄞州区にあります。ここではセミロストワックス、ロストワックスを製造し、普通鋳物は違う地区にある第2工場で行っています。鋳造設備は、500kg IE炉3基を有し月間の鋳造能力は約300tになります。さらに、工作機械で簡単な追加工も可能です。溶湯チェックは溶解バッチ1回/500kgごとにサンプルを採取し、カントバックで検査を行っています。製造方法の検討は、支給図面を元に3CAD/ProEで鋳造方式や、指示された材料配合も検討します。

品質保証は、ドイツTUV、ISO9001、PED(97/23/EC)認証、AD2000WO認証を取得しており、他の品質基準はご要望に合わせて対応します。製品は主に高圧配管(~600A)、バルブ、ポンプ構成部品、建機部品を製造しており、輸出先はアメリカ、カナダ、イギリス、フランス、日本、韓国、インド、中国などになります。

特徴としては、豊富な認証資格、大中小と様々なサイズの鋳造に支給図面からの提案が可能などが挙げられます。

2) 嘉善天晟 精密鋳件有限公司

ジャンシェンティンチャン

場所は浙江省杭州市嘉善県陶庄鎮にあります。セミロスト、ロストワックスのみを製造しています。鋳造設備は、150kg炉3基を有し月間の鋳造能力は約150tになり、工作機械で簡単な追加工も可能です。溶湯チェックは同様にカントバック

で検査を行っています。製造方法の検討は、支給された3DCAD図面に対しロストワックスで製造可能かを判断します。

品質保証はISO9001を取得しており、他の品質基準は同様に対応可能です。このメーカーは部品に合った製造方法の開発に力を入れており、現在30項目の特許を取得し科学技術中小企業の称号を持っています。製品は主に海外・日系大手ポンプメーカーのポンプ構成部品(ボディ、インペラなど)、高圧配管になり、輸出先はドイツ、中国の日系メーカーなどです。

特徴としては、とても小さい部品(10g/個~150kg/個)、薄肉部品(最小寸法:Φ300mm×厚さ3mm)から大きな部品まで幅広い対応が可能です。

3) 共通すること

鋳造のコストメリットを検討する際は製造ロットが重要になります。1回の鋳造で何個=何tの製造が可能か計算するので、数量が多く大きな部品が適合し易いのですが、一概には言えません。寸法が違う様々な構成部品を同じ素材で統一できた場合、1回の鋳造で製造できることもあります。まずは、お気軽にご相談ください。



ロストワックス製の鋳造品